

古代の文字史料

岡山大学助教授

今津勝紀

今回は、木簡についてお話ししてみたいと思います。歴史の史料というと、すぐに思い浮かぶのが文書であり、今年ももうじきはじまりますが、町史編さん事業でも古文書の調査を行っています。しかし今も木の表札に名前を書いたりするように、文字は墨を使って紙に書かれるだけでなく、土器や木片に書かれたりもします。そうした墨で文字が書かれた土器や木片も文字の少ない時代の研究史料としては貴重なものです。

古代の遺跡を調査するなかで、土器の蓋や底に、あまり文字数は多くないのですが名前や役職名などの文字を書いたものが発見されることがあります。こうした墨で文字の書かれた土器を墨書土器といま

す。土器に付着した墨は、完全に消えてしまうことにはないのですが、使用や土中にある間に剥落している場合が多くあります。またこれは、文字を書く行為の目的に由来するのですが、土器に長々と意味を伝達する文章を書くことはありません。そのため墨書土器に記された字数は大体、一文字で、多くて二〜三文字です。こうした文字は、言うならば、なんらかの識別記号のようなものですので、基本的に意味をとりにくい場合が多くあります。そのため何のこともだかさっぱりわからない例が多いのですが、土器は無機質ですので土中にあっても、比較的残りやすい部類に入ります。岡山県内でも各地で墨書土器は見つかっています。

これに対して、木や紙は有機質ですので、多湿な日本列島ではふつう腐食してしまいます。木や紙が残るのは、砂漠の真ん中で湿気の少ない乾燥地帯や、ある特定の特殊な条件のあるところに限られます。中国の乾燥した砂漠地帯からは古い時代の木や紙が良好な状態で発見されたりしますが、こうした条件は日本列島にありません。日本列島で紙が土中から発見される場合はどうかともうしますと、例

えば、常陸国（現在の茨城県）の役所で反故にした紙を、いなくなつた紙ということでは漆がたつぷりはいつた壺の乾燥を防ぐための蓋に転用したところ、その蓋となつた紙に漆が付着し、文字面が漆によって保護された結果、現在まで残つたという例があります。こうした文書を漆紙文書といいます。これなどはきわめて稀な事例でしょう。ちなみに常陸の国から発見された漆紙文書には、国内の人口統計のような記載があり、古代の日本国の総人口を復原する上で大きな役割を果たしました。ついでながらにもうしておきますと、奈良時代の末、八世紀末で五五〇〜六〇〇万人ほどが総人口と推計されています。

紙はこのように土中に保存されることはほとんどないのですが、木の場合、日本列島に比較的広くある特殊な条件のもとでは発見されることがあります。それは単に土の中というだけではなく、なかでも土中に水分をたつぷりと含んだ泥状の土が堆積している場合です。そうした土の中からは、当時の木が腐食せずに発見される場合があります。地面を掘ると水が湧くことがあります。そうした地下水

青少年の健全育成は「地域・家庭・学校」の強い連携で

新見市内三高等学校 生徒指導連絡協議会
新見市学警連高等学校部会

青少年の健全育成は、私たちみんなの願いです。

次代を担う青少年の健全育成のためにも「我が子、人の子、地域の子」の共通理解のもとに、是非ともご協力をお願いいたします。

1 学校では

新見市内三高等学校では、各校の特色を生かし、互いに連携をとりながら指導の成果を上げるように努めています。

☆基本的な生活習慣の確立と徹底

服装・髪型・あいさつ・言葉遣い等の指導をしています。
☆教師と生徒のふれあいの重視

授業・部活動・クラブ活動・学級活動の中で、心の交流を深めるよう努力しています。
☆学力の向上

一斉授業だけでなく、個別指導・補習などを通して、できるだけ興味をもって学習ができるように努めています。



2 家庭では

家庭は子育ての原点です。「明るい家庭」を創りましょう。

☆責任と自信を育成

家庭での役割と分担を決めて、責任と自信を育てましょう。

☆生活のチエツク

服装や言葉の乱れは非行の兆しです。

☆何でも話せる家庭環境

子供が悩みを気軽に話せるような雰囲気を作りましょう。

☆「いじめ」の早期発見

子供に異常が認められたときは、すぐに担任か知り合い

位の高い場所に位置する遺跡では、もし溝や穴状の遺構があれば、そこに泥状に土が堆積しており、そのなかから木器や木片が発見されるわけです。こうして発見された木片に文字の残されているものを木簡と呼びます。幸いなことに、日本古代の中心地である奈良盆地の地下水位は高いので、藤原宮・平城宮跡からは大量の木簡が発見されています。

こうして発見された木簡ですが、木の組成はすっかり変化して、セルロースなどは抜け落ちていくのが通常です。しかし、土中にある間に、木の組織には水が入り込んでいくので形は維持されています。本当に条件のよい場合には、ほとんど腐食せず、当時の色合いをそのまま残しているものもあり、こうした木簡に出会うと感動的です。ただ、これは文字通り水ぶくれの状態ですので、乾燥させては一大事。なによりも外気にさらしつづけることは危険です。さしあたりは、水漬けのまま保管することになるのですが、水とともにビニール袋に真空パックして冷蔵庫で保管したりしています。このままではまだ取り扱いが面倒なので、最終的に保存処理をほどこし

ますが、その技術も現在ではほぼ確立しており、凍結乾燥法を利用することで処理をするのが一般的です。簡単に言えば、フリーズドライ、つまりインスタントラーメンをつくるのと一緒です。

古代などでは、普通の庶民が手軽に紙と文字を使用していたかは疑問なところもあり、文字は基本的に行政や支配のためのツールであったと考えられます。出先の役所・官庁・宮殿などでは、膨大な量の文書が使用されていましたが、そうした遺跡からは文字の書かれた木片や土器が多く発見される可能性があります。最近では地方の遺跡からもずいぶん発見されているのですが、残念ながら岡山県では条件のよさそうなおところはあ

りませんが、あまり見つかっていません。この町史編纂作業の間に哲多郡の役所跡から木簡が発見されるようなことがあれば有難いですが、なかなか

木簡(送り状)の一例

(表) 備前国三野郡津嶋部里



平城宮出土木簡

(裏) 備前国三野郡津嶋部里

びしいでしょう。しかし、平城宮からは哲多郡で作られた「庸」という税を米で納めたことを示す木簡が見つかっていますので参考までに掲げておきます。米俵に付けられて、はるばる哲多郡から奈良の都に送られた、八世紀前半の木簡です。

〔木簡に書かれた文字〕

・(表) 備中国手田郡大飯郷

新口里庸米

・(裏) 四斗五升田中里一斗

五升右二村一俵

藤原や平城宮で発見される木簡は、大体、廃棄されたところから出土するのですが、いわばゴミとして捨てたことの結果でもあります。ゴミ穴を掘って、まとめて捨てることもありますが、平城宮・京では縦横に走る溝にいらなくなつたものを捨てていたようです。こうしたゴミも歴史を考える上で貴重な史料となっています。

の先生に知らせましょう。

3地域では

地域は健全育成の大切な応援団です。我が子・他人の子の区別なく温かく見守りましょう。

☆愛の一声を

他人の子に優しい一声をかけましょう。

☆地域活動の推進を

家庭ぐるみで参加できる地域活動を進めましょう。

☆良い環境作りを

有害図書・悪徳ビデオの放など、青少年のための良い環境作りを地域ぐるみで進めましょう。

☆「いじめ」の早期発見に協力を

「いじめではないか」と思われるような様子があったときは、些細なことでも、すぐに学校に知らせて下さい。

「二十一世紀に翔く哲多つ子」を育てよう

多くの体験をとおして、心身ともに健康でたくましい子どもを育てるため、「哲多の子どもボランティアの会」実行委員会を設立し、役場で第一回会合を開きました。

生きる力をつけ、たくましい子になるために次のことが話し合われました。

○家庭教育では
子育ての合言葉を募集したり、我が家の子育て法など情報交換

○通学合宿体験
約一週間、共同生活しながら学校へかよい、忍耐力や協調性を学ぼう

○地域社会では
人材バンクに登録をお願い

し、子ども達が体験学習できる受け皿を作る
子どもは地域の宝物。まずは家庭からですが、地域で育んでいきましょう。

